

6 横浜市の計画と「横浜市立図書館運営実行プラン」

(1) 第3期横浜市教育振興基本計画(平成30(2018)年策定)(平成30年度から令和4年度)

平成30(2018)年策定の「横浜教育ビジョン2030」の具現化に向けたアクションプランとして、令和4(2022)年度までに進める施策や取組をまとめたものです。

このうち、図書館に関係するのは、柱11「施策1 ② 読書活動の推進」と、「施策2 図書館サービスの充実」です。



(2) 第二次横浜市民読書活動推進計画(令和元(2019)年策定)(令和元年度から令和5年度)

「横浜市民読書活動推進計画(平成26(2014)年策定)」は、乳幼児から高齢者まですべての横浜市民の読書活動を総合的に推進するため、「横浜市民の読書活動の推進に関する条例」等に基づいて策定しました。「第二次横浜市民読書活動推進計画」は、「読書バリアフリー法」の施行など、社会情勢の変化等をふまえて策定したものです。

図書館は、読書活動の中核の場として全体に関わりますが、特に「成人の読書活動の推進と担い手の拡大」「読書活動の拠点の強化と連携」に取り組みます。



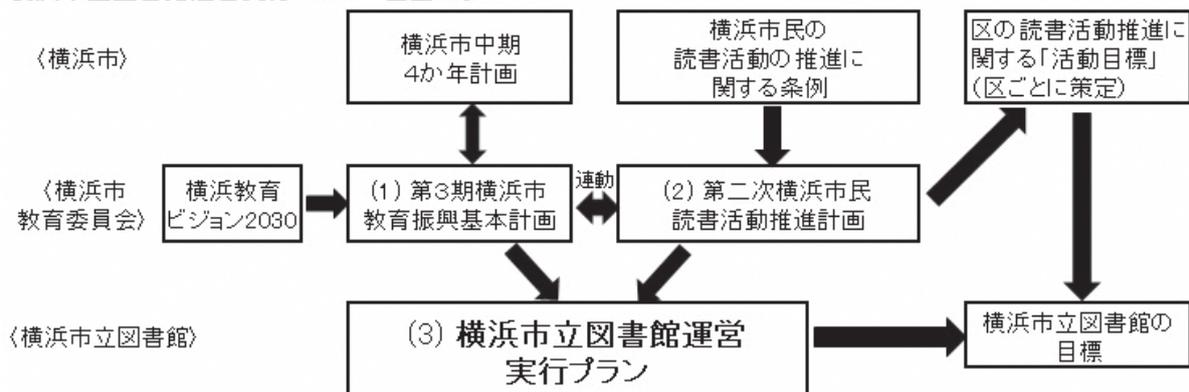
(3) 横浜市立図書館運営実行プラン(令和2(2020)年策定)(令和元年度から令和4年度)

横浜市立図書館の中期計画である「横浜市立図書館運営実行プラン」(以下「運営実行プラン」という。)は、上記(1)のうち、図書館や読書に関する施策を計画的に実施することを目的としつつ(2)とも連動するものとして策定しました。なお「運営実行プラン」策定にあたっては、従前3つに分かれていた横浜市立図書館のアクションプラン、蔵書、児童サービス等に関する中期計画(いずれも計画期間は平成27(2015)年度から令和元(2019)年度まで)を統合しています。

「運営実行プラン」の成果指標には、(1)(2)の指標等を用い、進行管理のため、年度ごとに各図書館において「図書館の目標」を策定しています。計画期間は(1)と連動し、令和元(2019)年度から令和4(2022)年度までです。



横浜市立図書館運営実行プランの位置づけ



横浜市立図書館運営実行プラン 3つの重点項目 「第3期横浜市教育振興基本計画」柱11の(施策2)「図書館サービスの充実」を受け、方向性を定めました。	誰もが利用しやすい図書館づくり
	子どもの読書習慣の定着への支援
	蔵書とレファレンスの充実